

## 10 豊岡自然環境保全地域



### 1 地域指定

- (1) 指定地域 豊岡海岸周辺一帯（東海村）
- (2) 指 定 昭和52年2月3日（茨城県告示第117号）

### 2 保全計画の概要

#### (1) 指定理由

本地域は、久慈川河口の南部に位置し、クロマツ群落が極相をなし、一部には、シラカシ、スダジイ、トベラなどの常緑広葉樹林もあり、林床には、海浜植物などが多数生育し、優れた自然環境を形成している。このため、本地域は自然環境保全条例第3条第1項第4号の「その区域内に生存する動植物を含む自然環境が優れた状態を維持している海岸」に該当する。

#### (2) 保全すべき自然環境の特質

本地域は、久慈川河口南部の豊岡海岸に面した箇所であり、砂浜と、クロマツを主とする林からなっているが、クロマツの樹林には、スダジイ、トベラ、シラカシなどの常緑広葉樹やコナラ、アカマツなども混じっている。その林床などには多様な植物が生育し、動物も豊富に生息している。

#### ア 植 生

本地域の森林の組成は、クロマツが多く、その中にアカマツが混じっている。これらが高木層、亜高木層となり、低木層はアカガシ、トベラ、マサキ、マルバグミ、ヤツデ、ヒサカキ、ガマズミなどである。草本層にもハイネズ、ビロードテンツキ、ハマゴウなど海浜植物が多い。また、海岸や林床には、暖地性植物と北方系植物とが混生しているのが特徴である。

北方系植物の代表的なものとしてはハマナス、スカシユリなどが自生している。

暖地性植物の代表的なものとしてハマハタザオ、マルバグミなどが林床に自生し、マツ類、モミ類には着生植物のベニガヤラン、ヨウラクランが多数着生している。

### イ 動物

本地域には、砂浜を好む動物、砂浜の草地にすむ動物、常緑広葉樹林にすむ動物、明るい疎林を好む動物など種類が多く生息している。

常緑広葉樹を好む動物としては、南方系のアオスジアゲハ、クロアゲハ、モンキアゲハや樹液に集まる昆虫類などが生息している。

疎林的明るい環境を好むものとしてはキチョウ、コムスジ、ヒメウラナミジャノメなどが生息している。

砂浜の草地には直翅目を中心とする食葉性の昆虫類が多く生息し、カワラバッタ、トノサマバッタ、イボバッタ、ヤマトバッタなどのバッタ類、スズムシ、カネタタキなども生息している。

草地から海岸線までの砂浜は、シギ、チドリ類が数多く飛来している。

本地域の特色ある動物としては、秋冬期に飛来するスズメ科のイスカ、昆虫類ではカンタン、カワラバッタ、カワラハンミョウなどである。

#### (3) 自然環境の保全に関する基本的な事項

地域全域を普通地区とし、そこに生存する動植物を含む自然環境を維持する。このため保全に必要な規制は条例の定めにより行う。

#### (4) 保全施設に関する基本方針

巡視歩道、標識、廃棄物処理施設、植生復元施設、病虫害防除施設、給餌施設、養殖施設等が必要に応じて設ける。

#### (5) 地区の区域設定に関する計画

本地域の区域は、次のとおりとする。

普通地区

名 称	位 置	区 域	総 面 積	土地所有別 面 積	摘 要
豊岡自然環境保全普通地区	茨城県那珂市東海地区	茨城県那珂市東海地区の一部	ヘクタール 50.37	ヘクタール 国有地 9.85 公有地 29.76 私有地 10.76	クロマツ群落とスタジイ、シラカシなどの常葉樹 南方系のアオスジアゲハ イスカ(鳥)など

総 括 表

区 分	特 別 地 区									普 通 地 区			合 計		
	野生動植物 保護地区			そ の 他 の 地 区			小 計			国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地
所 有 別	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地
所 有 別 面 積 (ヘクタール)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9.85	29.76	10.76	9.85	29.76	10.76
地 区 別 面 積 (ヘクタール)	0			0			0			50.37			50.37		
地 区 別 (パーセント)	(0)			(0)			(0)			(100)			(100)		

(面積は図上測定による概算値である。)



# 豊岡自然環境保全地域区域図

$$S = \frac{1}{10000}$$



普通地区界	
①～②	堤防法尻界
②～③	地番界
③～④	道路界
④～⑤	字界
⑤～①	汀線界

凡例	
標	標板設置位置
柱	標柱設置位置